

## 平成24年12月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

### ◎ 個人質問

4番 簀戸利昭

#### 1. 道路・河川アダプト制度について

- ①団体・自治会等の活動状況について伺う。
- ②地域保全に関する研修会や講座の開催状況について伺う。
- ③指導者の育成状況について伺う。
- ④ボランティア支援はどのような形でされているか伺う。

#### 2. 花いっぱい運動推進事業について

- ①花いっぱい運動の実施状況について伺う。
- ②団体に対する補助の期限を撤廃し、事業を推進してはどうか伺う。

9番 水野忠範

#### 1. 来年4月からの公共交通のバス利用について

- 1) 県、国からの支援について、来年4月以降についてはどうなるのか。今までどおりの運行の確保はできるのか伺う。
- 2) 矢掛町は3台の小型車を買って、町内循環バスとして4月からの運行を計画している。公設民営の形態をとるようだが、当市としてこの方法を採用してはどうか伺う。

3) 10年先の井原市の公共交通についてどのように考えているか伺う。

8番 大 鳴 二 郎

1. 潜在的な孤立化、そして孤立死を防ぐ対策は

孤立死は、決して高齢者だけの問題ではなく、多様な年齢層に広がっている。また、高齢者世帯の増加や孤立化も年々深刻な課題となっている。

こうした方々を地域社会で支えていくには、ある程度の個人情報の公開が必要と考えるが、市の対応について伺う。

7番 三 輪 順 治

1. 合併後の井原市について

1) 平成17年3月、芳井町、美星町を編入合併した新市としての井原市。その背景には、・地方分権の推進・住民の生活圏の広がり・少子高齢化の進行・健全な財政運営・多様化するニーズへの対応を掲げられているが、合併後7年半を経過した現時点での合併効果について、次の2点についてお伺いしたい。

①行政サービスの効率化・高度化・専門化

②住民の利便性向上及び合併後の「一体感の醸成」の具体的事例と課題

2) 合併時の「新市将来構想・建設計画」の中で位置づけられた「重点プロジェクト」の進捗度と課題について、具体的に明らかにしていただきたい。とりわけ、計画に位置付けたものの未着手や実施しないプロジェクトの原因、また、そのことが市民に与える影響、関連して代替措置が取られていれば、その具体的内容についてお伺いしたい。

## 2. 井原市第6次総合基本計画後期基本計画策定の姿勢等について

合併後の平成20年3月、井原市の向こう10カ年のまちづくりビジョンが策定され、本年度末をもって前期5年間の終了する。

このため、現在後期5年間の基本計画を策定されているが、次の諸点について市長及び教育長の基本的考え方をお伺いしたい。

- 1) 前期5年間の総合的評価について、「まちづくりに関する市民意識調査結果」を踏まえた市民目線での評価と課題についてお答えいただきたい。
  
- 2) 後期5年間の重点目標について、時代の大きな変化に伴う新たなプロジェクトを通じた地域経済活性化等の必要性が生じていると考えられるが、今後5年間における「選択と集中」、「夢・挑戦」、「参画・協働」の基本理念の具現化について、市長としての考え方をお伺いしたい。

あわせて、以下の当面する諸課題に対する見解をお伺いしたい。

①県境を越えた医療・観光・文化／スポーツ面の連携策

②企業誘致等地域経済活性化及び雇用の確保対策

③ポニー跡地の現況と井原市としての活用方策案

- 3) 教育長として、『前期5年間の「教育」に係る総合的評価について』及び『向こう5年間の教育方針の基本について』お伺いしたい。

いずれも、少子高齢化が進行している現状、また、いじめ問題を始めとした子ども達を取り巻く大きな環境変化等を踏まえ、学校教育面、社会教育（生涯学習を含む）面、文化・スポーツ面についてお聞きしたい。

1 番 坊 野 公 治

## 1. 井原市中心部の活性化について

井原市中心部の商業施設が完全閉店して1年が経とうとしている。

現在井原市が把握している現状と、今後市として購入を含めた有効利用の方法

を考えているか伺う。

## 2. 市内クリーンキャンペーンを含めた清掃活動における雑草の処分について

本市では5月の第3日曜日をクリーンキャンペーンの日と定め各地域で清掃活動が展開されている。刈り取った雑草などについて、その日にクリーンセンターへの搬入は受け入れが可能となっているが、クリーンキャンペーンの日以外の清掃活動における雑草等の受け入れ日の拡大について伺う。

15番 河合 建志

## 1. 教育概念と政治哲学について

1) 伊原木岡山県知事は就任にあたって、1期目の4年間では、教育再生に道筋をつけることを最優先すると表明した。学校に規律を取り戻せば、全国学力・学習状況調査の順位にも反映されると信じていると指摘した。また本市の第6次総合計画の教育・文化の基本目標は「心豊かでたくましいひとを育てるまち」として、「本市の次代を担う“ひと”を育成するために、学校・家庭・地域・行政など社会全体が一丸となって、人間性や社会性の豊かな、たくましい子どもたちを育てます。」とある。市長と教育長は上記の岡山県知事の決意をどのように評価されているのか、教育概念を伺う。

2) 9月定例会で陳情「モーターボート競争の場外舟券発売場の設置に関するお願い」が賛成多数で採択された。場外舟券売場設置に対する市長の考え及び政治哲学について伺う。

## 2. 有害鳥獣被害への対策強化について

これまでの一般質問で市長は有害鳥獣被害への対策強化を推進していくと答弁されている。しかし、猿による被害は増える一方で、最近では野生の猿を追い払う犬「モンキードッグ」を活用した追い払いが全国的に広がりを見せている。都道府県の約半数の24県の自治体が導入し、「犬猿の仲」を活用し、高齢化する農家を助けている。

電気柵より費用が安く済み、設置する手間もかからない。犬の訓練費用は1頭30万円以上で、訓練期間は数カ月から半年近くかかる課題もあるが、当市もあらゆる手段を尽くして有害鳥獣被害に歯止めをかける必要がある。

モンキードッグの活用について伺う。

5番 西田久志

1. 支障木（交通・景観）の撤去について

①市内における支障木撤去依頼の現状について伺う。

②市民と行政で役割分担して撤去してはどうか伺う。

2. 放課後児童クラブの運営について

①市内14カ所の児童クラブへの助成の現状について伺う。

②段階的に委託料を細分化したらどうか伺う。

3. 保育料の軽減について

①保育料の現状について伺う。

②第二子についても無料にしたらどうか伺う。

2番 藤原浩司

1. 放課後児童クラブ等について

児童福祉法の一部改正にて、放課後児童クラブについての変更点等を伺う。

2. いじめなどによる登校拒否等について

市内の小学校、中学校でのいじめ等により登校拒否をしている児童・生徒の実

態、いじめに関係なく登校拒否をしている児童・生徒の実態について。また、そうした児童・生徒に対しての学校側の対応、対応に関して登校拒否の改善状況を伺う。

### 3. 再生可能エネルギー等について

現在、近隣の市町でも再生可能エネルギー事業に手掛けられていますが、井原市では再生可能エネルギーについてどのように考えているのか伺う。

12番 佐藤 豊

#### 1. 高齢者の安心・安全対策について

1) 高齢者や市民を狙った「振り込め詐欺」が頻発している現状にあります。本市としても更なる被害防止に向けた啓発が必要と考えますが、現在の対策と今後の取り組みについて伺います。

2) 火災警報器の設置が義務化されている中で、高齢者が火災で犠牲になるケースが増加傾向にあります。本市として高齢者に対し防火に対する意識啓発と高齢者家庭の火災警報器設置総点検を実施してはと思いますが考えを伺います。

3) シニアカーは歩行者扱いですが、事故が増加しているようです。事故が発生した際、高齢者であることから重篤な状態になることが考えられます。また、事故等で加害者になった場合に高額な賠償事例もあります。本市として、今後急激な高齢化の進行が予測される中、シニアカー利用者の現状把握と運転講習などによる安全対策を講ずる必要があると思いますが本市の考えを伺います。

#### 2. 小・中学校での「がん教育」の実施について

昭和56年より日本人の死亡原因の1位はがんとなり、平成23年度では1年間で35万7,305人が亡くなっています。国では平成18年にがん対策基本法が成立し、本格的にがんの予防と早期発見に向けた施策を展開しています。本市としてもがん検診の受診率向上や女性特有のがん予防への対策が進められた

ところですが、検診率の向上は思ったより進んでいない状況にあるように思います。そこで私の提案ですが、現在、東京都豊島区で取り組まれている、児童・生徒にがんの正しい知識を教える「がん教育」を参考にしてはとを考えます。子供の頃から継続的にがんについて学び、正しい生活習慣を身に付けられれば将来がんになることを予防できるとされ、また、子供達の学びから子育て世代の保護者への波及効果としてがん検診受診率向上へつながる可能性があると言われております。本市として、小・中学校の年間授業カリキュラムの中に組み込み実施してはと思いますが考えを伺います。

### 3. 太陽光発電(メガソーラー)誘致について

3・11東日本大震災による福島原発事故発生後、原発依存から脱却するため、新たなエネルギー源として太陽光発電(メガソーラー)が注目されています。再生可能エネルギー固定価格買取制度の拡充により多くの企業も参入し全国的な広がりも見えます。近隣の笠岡市、浅口市、矢掛町でもメガソーラーの設置や設置に向けての取り組みが進んでいるようですが、本市への企業からの打診の状況について、また、誘致を推進するための条件整備や課題等について伺います。

20番 森本典夫

### 1. 不況が続く情勢下で行政の果たす役割をどう考えていますか

「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」これは憲法第25条です。私はこの第25条の精神に沿って議会内外で活動しています。しかし、現在の情勢は、高齢者、中堅労働者、青年、子どもたちにとって大変厳しいものになっています。

こういう厳しい情勢の中におかれている市民に対して、井原市はどう臨もうとしておられるのか、また、憲法第25条の精神に立って、市民福祉の充実を目指すことが重要だと考えます。新年度予算にどう反映させようとしておられるのか、行政の果たす役割の基本的なお考えと具体策をお尋ねいたします。

2. 学力低下の原因究明と学力向上対策をどう考えていますか

いま学力低下が指摘されています。教育委員会として、学力低下の原因究明をしていますか。しておればその詳細をお聞かせください。

また、学力向上対策をどう考えていますか。

3. 市長は場外舟券売場の設置に同意しないこと

11月13日の場外舟券売場に関する新聞報道によると、12日に設置者の遊技業者が市長に、同意申請書と事業計画書を提出したようです。市長は「一部の市民が心配する交通安全、治安面、環境美化、青少年への影響などについて、倉敷市の考えを聞きたい。申請内容を十分に検討して判断したい」と言われたようです。

市長が言われるように、「一部の市民」が心配しているのではなく、市内の有識者や教育者をはじめ、多くの市民が設置に反対しているのが実情です。したがって、設置に同意しない決断をしていただきたい。

4. 就学援助制度の改善・充実を

国は、就学援助制度を改正し、今までの援助項目に新たに、クラブ活動費、PTA会費、学級会（生徒会）費の3項目を加えました。井原市でもこの3項目を援助項目に加えて実施してはどうですか。

5. 市道井原北川線と日芳橋塚原線の三差路交差点の改良計画はどの位進んでいますか

今年の2月議会で、この交差点改良を提言しました。この時、市長は「周辺地権者や地域住民の方々との協議を行う資料である概略設計により、地域住民の方々や周辺地権者の方々のご意見をいただきながら協議を進め、渋滞が解消され安全に、また円滑に通過できる交差点となるよう取り組みたい」とお答えになりました。

関係地権者との話し合い等がどのように進み、今後の改良計画はどうなりますか。



6. 住宅リフォーム補助制度を来年度も実施を

平成23年度にスタートした住宅リフォーム制度は、今年度も継続実施されています。この間の工事費実績で見ると非常に経済効果があることは実証されています。

地域活性化のためにも、来年度も実施していただきたいと思いますがどうか。

7. イノシシ、サルなどの捕獲で、三重県が実施している「まる三重ホカクン」作戦を導入してはどうか

三重県が実施している「まる三重ホカクン」作戦は、ITなどを駆使した作戦で、非常に効果を上げています。

井原市でも調査・研究し実施していただきたい。

8. 四季が丘グラウンド・ゴルフ場へ、各種大会時に大会関係者（事務局）が専用できるパソコンとプリンターの設置を

四季が丘グラウンド・ゴルフ場は、オープン以来、市内外からの利用者が多く、利用計画を大幅に上回っていると報道されています。

ただ、現在では、大会を開いてゲーム終了後の順位決定までに、かなりの時間がかかっています。時間短縮の方法として、パソコンを利用して処理する方法があり、そのための大会関係者（事務局）が専用できるパソコンとプリンターを設置してほしいという要望があります。

成績のパソコン処理は、時代の流れであります。この要望に応えていただきたい。

3番 上野安是

1. 仮称「井原情報発信課」の設置について

「井原情報発信課」を設置し、井原の魅力を市内外に発信する体制を充実してはどうか伺う。

## 2. 井原市グラウンド・ゴルフ場の整備について

井原市グラウンド・ゴルフ場の土のコースに雨天時でもプレーできるように屋根を設置してはどうか伺う。

16番 鳥越 孝太郎

## 1. 岡山県知事選挙において民間出身の新知事が誕生しました。

今後、伊原木県政とどう連帯強化を図り、井原市の地域経済活性化に取り組むのか市長の政治姿勢について

平成24年10月28日に、戦後初めて民間出身の新知事が誕生いたしました。伊原木知事は、「岡山県の強みを活かしながら、新産業の育成と企業誘致に全力で取り組む。働く場所が増えることで、地元の学校で勉強した学生が、地元で就職し、結婚し、子どもを持つことができるようになります。」と決意を述べられておられます。景気低迷の中、井原市の地域経済を強くし活性化を図るには県との連携プレーを強化することが重要であると考えます。

新知事は前例踏襲型の行政では限界と述べられ、新県政となったこのタイミングにこそ、岡山県知事と井原市長が、今以上に良好な関係構築を図り連携して他自治体に負けない政策を打つことが望ましいと考えますが市長の政治姿勢について伺います。

1) 井原市の強みを活かした新産業の育成と企業誘致について

2) 雇用の確保と市民の所得向上について

3) 農林業の振興と支援について